

2011年7月11日

患者様へ

フランスにおけるピオグリタゾン製剤の市場回収について
－EMAはピオグリタゾン製剤のベネフィット・リスクを継続協議－

患者様に服用いただいております糖尿病治療薬「アクトス」、「メタクト」、「ソニラス」に含まれる成分（ピオグリタゾン塩酸塩）につきまして、フランス保健製品衛生安全庁（Afssaps）の指示に従い、弊社フランスの子会社は、現地時間7月11日よりピオグリタゾン塩酸塩を含む製剤の市場回収を開始しました。

この措置は、安全性に関する新たな事実に基づくものではありません。フランスで実施された疫学調査（本年6月9日公表）から得られた、ピオグリタゾン製剤の投与により、膀胱癌の発生リスクがわずかに上昇するというデータに基づくものです。

欧州医薬品庁（EMA）は、2型糖尿病治療に対するピオグリタゾン製剤のベネフィットとリスクに関する検討を継続中であり、7月下旬までに最終的な意見を採択することを公表しています。

また、日本においては、6月24日付で、ピオグリタゾンを含有する製品（弊社製品名：アクトス、ソニラス、メタクト）の添付文書中の膀胱癌に関する「使用上の注意」を一部改訂しています。

ご不安、ご不明の点については、**主治医の先生とご相談いただき、くれぐれもご自身の判断で薬の服用を中止しないようお願い申し上げます。**

なにとぞ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

武田薬品工業株式会社